

花とみどり笑顔

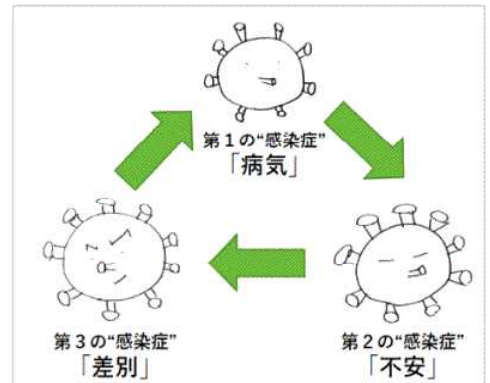
令和2年11月20日(金)
上田市立北小学校
学校だより No.9

～思いやり～ (11月校長講話より) 滝沢 克子

一緒にいるお友達が具合悪くなったり、ケガをしたりした時、「だいじょうぶ」と声をかけたり、保健室について行ってあげたりすることがあると思います。私たち人間は、困っていたり、苦しそうにしていたりする人を助けてあげようとする「やさしい心」を持っています。そんな良いところがありますが、自分がよく理解できない事に直面したり、不安や恐れを感じ過ぎたりした時には、相手の立場に立って考える余裕がなくなってしまうことがあります。

みなさんは、「もし、自分が新型コロナウイルスに感染したら？」と考えたことはありますか。少し前に、次のような悲しいニュースを聞きました。“ある人が新型コロナウイルス感染症に感染してしまいましたが、お医者さんが一生懸命に治してくれてすっかり良くなりました。家族も喜んで、学校にも登校できるようになりました。ところが、登校すると「ウイルスがうつる」と避けられたり、仲間に入れてもらえなかったりした”というのです。

感染した人ばかりでなく、一生懸命に治療をしてくれたお医者さんや、世話をしてくれた看護師さん、その家族を避けたりすることもあると聞きました。ひどいですね。悲しいですね。こういうひどい行為を、「差別(さべつ)とか偏見(へんけん)」と言います。



今までに、風邪をひいたり、インフルエンザにかかったりしたことがあると思います。新型コロナウイルスもその症状とよく似ています。かかりたくて病気になったのでしょうか。感染した人が悪いのでしょうか。本当に恐れるべきは、ウイルスそのものなのに、それが見えないから不安が増して、目に見える感染した人を敵として「差別」したり遠ざけてしまったりする、人間は、そんな弱いところも持っているのです。

もし、感染して責められたらどう感じるか、「差別や偏見」を受けることを想像してみてください。

どんなに気を付けていても風邪をひくことがあるのと同じように、予防をしても感染する可能性があるウイルスです。自分にも起こりうることなのです。感染したことを、その人の責任にしたら、相手はとても悲しい気持ちになると思います。治った後、学校へ行きたいと思うでしょうか。

感染症に限らず、私たちの周りでは、良い事も悪いこともいろいろなことが起こります。そのでき事をどう受け止め、どう対応するか、その判断が、自分や周りの人の将来を大きく左右することになります。わたしたち人間は「良い生き方」をしたいと思いつつも、必ずしも理想通りにはいかない弱い面も持っています。しかし、自分自身に起きたらどうなるだろうか、どうしてほしいかを考え、行動することはできます。

自分が言われたり、されたりしたらどう思うだろうと、その人の気持ちになって考えられることがとても大切なのです。それが「思いやり」ということです。

「思いやり」の持てる人は、自分の弱さに負けない、強い人です。困っている人やつらい思いをしている人に「思いやり」が持てる人、人を傷つけたり差別したりしている人に「それはおかしい」と言える人、北小のみんなは、そんな「思いやり」の持てる人になってほしいと思います。

あたたかい心
あたたかいことばで

「思いやり」を
とどけよう!



学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

9月にご協力いただいた学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。結果として、学校生活にかかわる項目は全て「4」「3」を合わせた回答率が90%以上であり、概ね良いとの評価をいただきました。少数ですが「1」とお答えいただいているものもあること・お寄せいただいたご意見を大切に受け止め、さらによりよい北小学校を目指して、学校づくりを進めてまいります。

なお、保護者アンケート結果・学校運営委員の皆さん・職員による評価をもとに、学校自己評価の中間報告を北小ホームページに掲載させていただきましたので、そちらもご覧ください。

令和2年度 北小学校

前期 学校自己評価(保護者アンケート)のまとめ

評価項目 (【評価】 4:あてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない)		全体に対する割合(%)			
		4	3	2	1
目標・運営	1 子どもたちは、楽しく学校へ通っている。	63.5	31.0	5.2	0.3
	2 学校目標「花とみどり笑顔の学校」を意識した指導や活動がなされている。	47.7	47.7	3.6	0.0
よくわかる	3 子どもたちは、友だちや先生と関わり合う活動を行っている。	55.3	41.3	2.4	0.3
よく学び	4 子どもたちは、意欲的に授業に取り組んでいる。	48.9	45.9	5.2	0.0
	5 子どもたちにとってわかりやすい授業になっている。	45.0	49.8	4.9	0.0
	6 学校や教室は整然とし、子どもたちが集中できる学習環境になっている。	49.5	45.0	4.3	0.9
	7 学びのスタンダードを基本に、思考力や表現力が高まっている。 (・よく聴く・はっきり話す・活発に話し合う・書き表す)	35.0	56.8	7.3	0.3
	8 教師は、その時間のめあて(やることは何か)を示している。	54.1	40.4	4.0	0.3
	9 教師は、子どもたちが自分の考えを表現したり、話し合ったりする活動を大切にしている。	55.3	40.4	2.7	0.3
	10 子どもたちは、「わくわく」が広がるような探究的な活動に取り組んでいる。	49.2	45.0	4.0	0.3
よく遊び	11 子どもたちは、毎週水曜日の「ハッピータイム」などでたくさん遊んでいる。	74.8	21.6	3.0	0.3
	12 教師は、子どもと共に遊んだり、遊びの時間を保障したりしている。	52.6	39.8	6.4	0.6
その他	13 新型コロナウイルス感染予防の対策が、しっかりと行われている。	56.2	39.8	3.3	0.3
	14 学校や学年等のおたよりやホームページによって、学校での子どもたちの様子がよくわかる。	48.9	45.6	5.2	0.3
しつけ・習慣	15 お子さんは、帰宅後や食事の前にきちんと手洗いをしている。	59.6	35.9	4.6	0.0
	16 お子さんは、進んであいさつをしたり、返事をしたりしている。	27.4	54.4	17.6	0.6
	17 お子さんは、脱いだくつをそろえている。	16.4	36.2	38.6	8.5
	18 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんが毎日できている。	42.2	43.2	13.1	1.2
	19 お子さんは、学習や読書をするときに、テレビを消して取り組んでいる。	34.0	36.5	23.7	5.5
	20 ゲーム機・パソコン・スマホ等の使用にあたり、時間ややり方、マナーを守る等の約束を決め、使用している。	33.4	43.5	19.1	2.7
ふれあい	21 お家の方は、お子さんの宿題や提出物に目を通している。	40.1	42.2	16.1	1.2
	22 お子さんの話をよく聞いたり、一家団らの時間を過ごしたりしている。	47.4	46.8	4.9	0.9

【お寄せいただいたご意見(複数あったもの)と受け止め】

○「コロナ禍でも工夫をしていただき、楽しい学校生活が送れていることに感謝です。」(12人)

◇「コロナ対策が過剰になりすぎて、むしろ不安感が強くなっていないか心配。クラブなど楽しみなことを増やしてほしい。思い出がたくさんつくれることを願います。」(3人)

→10月からはスポーツフェスティバル・クラブ活動・北小まつり・応援団の皆さんとかかわる活動(読み聞かせ・苗の植え替え)・校外学習や修学旅行など、感染防止対策を講じながら活動を広げ、わくわく感を高めていきます。今後も、感染状況を見ながら、少しずつ活動を広げていけるよう工夫していきます。

◇「ゲームばかりやって、外遊びや学習時間、会話の時間が減っていて困る。」(5人)

→6年生は19日に情報モラル等にかかわる講演を聞きます。4,5年生についても、今後そのような場を設ける予定です。

ご協力、ありがとうございました。

『わくわく広場』『校庭 打ち上げ花火』

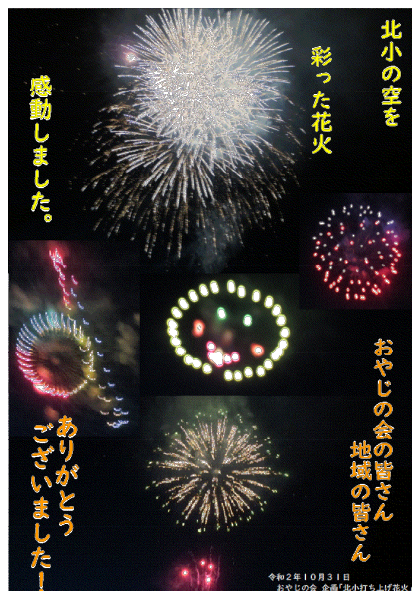
ステキな時間を ありがとうございました！

10月31日(土)の北小学校には、雲一つない秋晴れのさわやかな空の下、夢のような楽しくわくわくする時間が流れました。そうです、PTA主催の「北小まつり」と、おやじの会 企画の「校庭 打ち上げ花火」が行われたのです。



コロナ禍で例年行われていた行事がことごとく中止となっていたPTA活動でしたが、この状況のなかでも子どもたちのためにできることをと、学級・学年部の役員さんを中心に4か月前から内容を考え始め、準備を進め、開催に漕ぎ着けてくださった「北小まつり」。バザーや飲食物の販売を止めて児童向けのゲームコーナーのみとしましたが、工夫を凝らした11のゲームコーナーを設けた『わくわく広場』は、子どもたちに大好評でした。おみやげのお菓子も、嬉しかったようです。

そして、あかね色に染まった空に夕闇が迫るなか、北小の空に色とりどりの華を咲かせた打ち上げ花火。おやじの会の企画に賛同ご協力をいただいた地域の皆さん・保護者の皆さんのおかげで、100発近い花火が北小の校庭から打ち上げられました。空に広がった大輪の華々はもちろんですが、「たーまやー！」などと学校周辺から聞こえてきた子どもたちの歓喜の音が、とても印象的でした。「子どもたちに、えがおを・思い出を届けたい」というおやじの会の皆さんの願いが実現されたのでした。



PTAの皆さん、おやじの会の皆さん、



地域の皆さん、

本当にありがとうございました。

・ ・ ・ ・ 12 ・ 1月 ・ 2月の行事予定 ・ ・ ・ ・

12月

- 7日(月) 児童会活動⑤
 - 10日(木)
 - 11日(金)
 - 14日(月)
 - 15日(火)
 - 16日(水)
- 個別懇談会
- 25日(金) 二学期終業式

1月

- 7日(木) 三学期始業式
- 14日(木) 4年 創造館学習①
- 15日(金) 4年 創造館学習②
- 18日(月) 児童会活動⑥

- 25日(月) 6年 中学校説明会
- 28日(木) 児童会 立会演説会

2月

- 2日(火) 5年 参観日
- 4日(木) 1年 参観日
- 5日(金) 2,3年 スケート教室
- 9日(火) 4年 参観日
- 12日(金) 3年 参観日
- 16日(火) 2年 参観日
- 18日(木) 6年 参観日
- 25日(木) なかよし 参観日

ふれあい集会『はしゃげ！北っ子の宴』実施！

18日（水）、ふれあい旬間中の集会として、6年生が企画した『はしゃげ！北っ子の宴』が開催されました。クラス内の小グループで6年生が準備したブースを回るというものでしたが、クラスの友だちと楽しい時間を過ごすことができました。



全校が楽しむことのできた「宴」でした。
ふれあい旬間にふさわしい、
ほのぼのとした時間となりました。

【11月「保健だより」より、再確認のお願いです。】

発熱時は、まず、かかりつけ医に電話を

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は、症状が似ているので、発熱やせきが出たらどうすればいいのでしょうか？発熱した場合は、まず、かかりつけの病院に電話をして相談します。かかりつけの病院では、患者を診断・検査できない場合は、対応できる「診療・検査医療機関」を紹介してもらいます。（県内に491あります）

かかりつけの病院もなく、どこに電話をしてよいか分からない場合は、保健所に電話をします。



お子さんやご家族が「PCR検査」を受ける場合には、
すぐに学校(23-1621)に連絡をしてください。

☆ 昨日は、授業参観・PTA講演会・学級PTA、ありがとうございました。
全県で感染者が増えてきています。引き続き、感染防止対策の徹底をお願いします。

最後に、おやじの会の皆さんからご報告の依頼がありましたので載せさせていただきます。

学校関係者様

おやじの会会長 高瀬 恒樹

打上花火へのご協力、ありがとうございました。おかげさまで、盛大な花火を打ち上げることができ、子どもたちの笑顔が広がったことと思います。
皆様にご協力いただいた寄付金の収支について、下記のとおりご報告させていただきます。

◇寄付総額 865,797円 ◇打上花火 450,000円 ◇剰余金 415,797円

なお、剰余金の用途については学校運営委員会にてご意見をいただき、改めておやじの会よりご報告いたします。ご協力ありがとうございました。